

資料2

平成30年度 公民館主催事業計画書

公運審提出日 4月25日

No.	実施館	事業名 (講座の名称)	事業目的	事業の主旨	期間・回数	学習内容	主な講師
1	田無	第12回田無公民館 まつり	地域づくり	公民館と利用団体が協力して活動の場を設け、地域交流の輪を広げる。	5月12日(土)・13日(日)	歌声コーナー・交流演奏で参加者が一つになって次回へ繋げる。	各サークル有志
2	田無	現代的課題を考える講座 地域から“孤立”をなくすヒント ～放っとけない！ ひきこもりや不安定雇用～	学習・自己実現	ひきこもりや不安定雇用が要因で地域から“孤立”する人が地域に戻るにはどうしたら良いか、本人・家族・サポーター(市民)ができることを考える。	7月14日・21日・28日 土曜日 第4回は「ひきこもりフューチャーセッション庵」へ任意参加	ひきこもりや不安定雇用の問題を自己責任ではなく社会課題として捉えなおす。当事者の体験を聞くことで、当事者の心理、当事者が望む支援のあり方、当事者自ら発信している活動など、新しい動きについて学ぶ。	池上正樹(ジャーナリスト)、Toshi(ひきこもり経験者)、巳年キリン(マンガ家)、伊藤みどり(働く女性の全国センター運営委員)、松澤拓矢・鴨志田結花(対話ラボ)、斎藤信(ひきこもり経験者)

3	谷戸	農業を知る講座	地域づくり	1年間の野菜作りを実践。農業の多面的機能と地域の繋がりを確認する。	6月26日～3月12日 毎週火曜日	畑地での野菜育成、収穫（10種程）と講義（食育、環境、健康）、視察交流会を行なう	小松光一（大地を守る会顧問） 保谷隆司（市内農家）他
4	谷戸	「自分らしく生きる」～性の多様性から考える～	学習・自己実現	性的少数者の存在を知り、講座を通して、人権意識を高める。	6月30日・7月7日 土曜日 2回	①70年代の「歌謡曲」を通して時代背景や役割について考える ②性の多様性の視点から「自分らしさ」について考える	舌津智之（立教大学文学部文学科英米文学教授） 飯田亮瑠（ダイバーノン代表）
5	保谷駅前	女性のための講座 ひきこもり女子会のつくり方	学習・自己実現	人間関係や就労に困難を抱える女性同士がつながり、語り合うことで自尊感情をとり戻し、共に支え合うピアサポートの場を作る。	7月5日・12日 木曜日 第3回は、参加者主体で日程、回数、内容等を決定する。	女性の生きづらさ、働きづらさの実情を学ぶ。当事者が自ら調査し、社会に発信することの必要性や効用について、参加者とともに共有する。	林恭子（「ひきこもりUX会議」主宰、不登校、引きこもり体験者）
6	保谷駅前	あつまれ！みんなのけいおん講座	学習・自己実現	月に1回日曜日の午後、保谷駅前公民館の部屋を開放し、若者世代が自由に集まり、音楽活動を楽しむ講座として実施する。	7月8日～3月17日、第3日曜日（例外あり）	基本的なバンドスコアやコードネームを理解し、演奏する楽しさを受講者同士で共有する。その上で、自分のやりたいことを話し合いの中で見つけていく。	太田光宏（音楽制作集団HEART NOTE PROJECT代表）、渡邊篤子（生涯学習音楽指導員）、山本雄一（ドラム講師）